

ロザナ、むしき

チヨウチヨウ

まど みちお

ちぎゅうには

チヨウチヨウが います

なんとなく います

みちばたの ちいさな くさに

ちいさな はなが

匂におっている みたいに

ちぎゅうには

チヨウチヨウが います

ゆめのまつに いてくれます

ちぎゅうの じいじ

あたしという おんなのこが

いるから みたいに

いまえ よしとモ
今江祥智

作家

阪田さんがずっと書いてこられたコーナーだとい
うことで、すぐに阪田さんの詩集を何冊か読み返し
ました。いくつもいくつも好きな詩があります。す
ぐにでもここにひき写したくなる…。

けれど、阪田さんが自選してこられたことを思う
と、やっぱりできなくなってしまう。それで
阪田さんがお好きだった、まどさんの詩集を読み返
しました。そこにも、いくつもいくつも好きな詩が
ありました。すぐにもひき写したくなる…。

そんな一つがこの「チヨウチヨウ」です。

まどさんが書かれた詩は、生きとし生けるものへ
の讃歌ほめ歌です。生きること、生きていることへのいつ
くしみがにじみ出ています。生きていることとしてす
ばらしい、そしてまどさんが切りとられたいのちへ
の歌もすばらしい。

チヨウチヨウとじいじとびまわりたくなります。